



わかやま熱中小学校 第七期生募集!



入学申込は
こちら



単発申込は
こちら

いくつになっても、学ぶことは楽しい!

「熱中小学校」は、全国各地に広がる“大人の学び舎”です。

19校目となる「わかやま熱中小学校」は、2023年4月に和歌山市で開校。全国で活躍する起業家、経営者、大学教授などを講師に迎え、毎月1名の講師が90分の授業を担当します。授業後は意見交換や交流の場も!

新しいスキルの習得、人とのつながり、そして自分の可能性を広げるチャンスです。ぜひご入学ください。



開催日時 ※すべて土曜日 ※6回の授業で1期分

2026年

●4月18日 ●5月16日 ●6月20日

●7月18日 ●8月22日 ●9月19日

開場13:30 | 開始14:00 | 終了15:30

開催場所 和歌山市中之島2287番地
「Work&Study IDEA」1階

受講形態	料金(税込)
一般(6回分)	15,000円
学生(6回分)	7,500円※1
オンライン(6回分)	9,000円
団体枠(12回分)※2	30,000円
単発受講(1回分)	3,000円※3

※1 スタッフ登録&事務局承認で授業料免除

※2 団体内で生徒の入れ替わり可能 ※3 当日現金払い



講師陣はいずれも、全国の第一線で活躍するプロ!

詳しくは裏面へ

お問い合わせ先 わかやま熱中小学校運営事務局

所在地: 〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島2287番地
電話番号: 073-422-5538 (befriend 株式会社内)
メールアドレス: wakayama.necchu@gmail.com

まいぶれでは
最新情報を
発信中です!



まいぶれ和歌山 ホームページ

4月18日 土 インバウンド富裕層はどうやって人気の旅行地を発見し、広めるのか？



松澤 ダンフォード 亜美 先生 NPO 法人 LunchTrip 共同代表 全国通訳案内士

全国通訳案内士(英語)。「食と旅を通じて世界を学ぶ」をコンセプトに掲げるNPO「LunchTrip」共同代表。外資系企業でコミュニティマーケティングに従事した後起業し、訪日客と地域コミュニティをつなぐ体験型プログラムを多数企画・実行している。50カ国以上の渡航歴と日米での居住経験を

活かし、VIPやビジネス客、家族連れに向けた少人数制のオーダーメイドツアーを提供。異文化理解を深める対話型の案内を強みとする。二児の母として年平均100泊以上国内外を旅するトラベルブロッガーとしても活動している。

5月16日 土 幸せとお金のいい関係 ～幸せを高めるお金との付き合い方～



大江 加代 先生 株式会社オフィス・リベルタス 代表取締役

津田塾大学卒業後、大手証券会社に22年間勤務し、一貫してサラリーマンの資産形成に携わる。確定拠出年金には制度開始前の2001年から関わり、多くの企業で制度運営や加入者教育を支援してきた。2012年に株式会社オフィス・リベルタスを設立し、2022年より代表取締役を務める。

現役世代の資産形成や定年前後のライフプランをテーマに、全国でセミナーや研修に登壇。制度や数字の説明にとどまらず、「お金は人生を豊かにするための手段のひとつ」という視点から、幸せ・健康・つながりといった要素との関係も含めて、お金との向き合い方を伝えている。

6月20日 土 人生は幸せ探し旅、終着駅は自分で決めよう



黒笹 慈幾 先生 高知大学地域協働学部 客員教授 / 元小学館編集者

1950年生まれ。1974年小学館入社。「三丁目の夕日」「釣りバカ日誌」「人間交差点」など数々のコミックヒット作を手がける。その後「ラピタ」「BE-PAL」「edu」編集長を歴任。「釣りバカ日誌」主人公ハマちゃんのモデルとして知られ、釣りと人生を愛する自由な人柄が作品にも息づいている。2011年に

高知へ移住し、南国生活技術研究所を設立。高知大学地域協働学部客員教授で、2019年には高知県観光特使に就任。地域づくりにも尽力。人生の後半を豊かに生きる「幸せ探しの旅」をテーマに、終着駅を自分で決める生き方を語る。

7月18日 土 イマジネーションの勧め ～未来は既にあなたの中にある～



清水 興 先生 ナニワエクスプレス ベーシスト

日本屈指のグルーヴ・ベーシストとして、80年代のナニワエクスプレス、90年代のHUMAN SOULやBAND of PLEASUREなどで活躍し、国内外のミュージシャンから高い評価を得る。骨太なサウンドとスリルある演奏で独自のグルーヴを生み出し、多くの著名ドラマーとも共演。インディーズ時代のコ

ブクロのプロデュースやゴスペラーズのアルバムへの参加などポップス分野にも関わり、幅広いジャンルで活動を展開。ナニワエクスプレスの再始動や周年記念ツアーを成功させるほか、スポーツと音楽の融合にも取り組み、近年はフェス運営や若手育成にも力を注いでいる。

8月22日 土 たまにはちょっと映画でも ～1ヶ月に2時間だけ、日常の外へ旅をする～



高水 美佐 先生 和歌山・北ぶらくり丁の映画館「シネマ 203」館長

1969年かつらぎ町生まれ。3歳で和歌山市へ越し、ぶらくり丁の映画館に通い詰めた。和歌山では見られない映画を追って上京、映画三昧の大学生活を経てアメリカに留学し、本格的に映画を学ぶ。卒業後は2年間のテレビ局勤務を経て念願の老舗「フランス映画社」へ。11年にわたり外国映画

配給の修行を積んだ。大阪の配給会社を経て、2013年に帰郷。和歌山大学に勤務しながら、知的好奇心をくすぐる故郷の今に驚き、23年に15席の映画館「シネマ203」を開館。21世紀の「映画館のある暮らし」について考えている。

9月19日 土 ベストパートナーとつくる地域づくりとお茶の話



立山 まき子 先生 立山商店 女将 / 行政相談委員

熊本県人吉市出身。短期大学卒業後、翌年に同大学教育課程を修了し、私塾で英語を指導した。1986年、明治10年創業の老舗茶屋・立山商店に嫁ぎ、店と地域に根差した活動を開始。1990年から鍛冶屋町通りの街並み保存に取り組み、歴史ある景観の継承に尽力する。1998年に日本茶アドバイザー

ザー、2003年に日本茶育士を取得。小中学校や各地へ出向き、日本茶の魅力や淹れ方、味わい方を伝える講座を実施。観光客向けの体験講座も好評で、分かりやすい解説が幅広い世代に親しまれている。日本茶文化と地域の魅力発信を今も日々精力的に続けている。